

# デマンド監視システム概要

Web対応デマンドコントローラ  
WTM-DMD6Cシリーズ

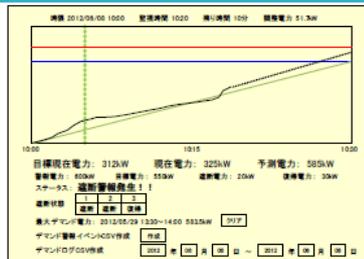
オールインワン！！「見る」「知る」「止める」を1台で。  
Web対応デマンドコントローラ『WTM-DMD6C』でデマンド監視！！

## WTM-DMD6Cを使用したシステム構成例



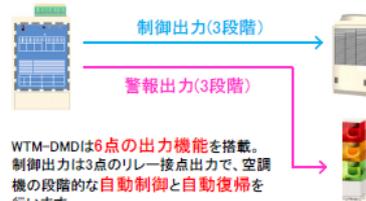
電力メータからのパルス信号を取り込み、30分デマンドの監視を行います。  
使用状況から最終的なデマンド値を予測し、警報や制御の出力により、目標超過を防ぐことが可能です。

## Webブラウザでデマンド表示



Internet Explorer等のWebブラウザで監視グラフ表示。  
ネットワーク環境下にある複数の端末で監視可能です。

## 段階的な警報・制御出力



WTM-DMDは6点の出力機能を搭載。  
制御出力は3点のリレー接点出力で、空調機の段階的な自動制御と自動復帰を行います。  
警報出力は3点のオープンコレクタ出力で、パトランプなどの表示灯に対し、注意・遮断・超過の信号を伝えることができます。

## デマンドデータは本体メモリに蓄積

30分ごとのデマンドデータと、1時間単位での使用電力量を本体内部メモリに蓄積します。  
最大で2か月分のデータを、WebブラウザからCSVファイルでダウンロードできます。



## 警報状態をメール送信

現場作業中の担当者にはデマンド警報状態をメール通知。  
どこにいても警報状態がわかります。

※メールサーバへの接続が必要です。

## NTPサーバによる自動時計校正



デマンドコントローラの時計は、電力メータの時計に合わせた設定が必要ですが、本体内部の時計は時間の経過とともにズレが生じます。  
WTM-DMD6Cは、NTPサーバと接続し、自動で時計校正するため、正確なデマンド監視を行うことが可能です。

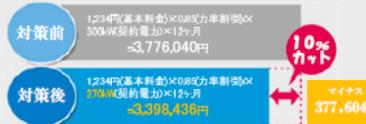
## ピークカットによるコスト削減

●電気の基本料金を下げる！  
デマンド状況をしっかりと監視することで、**デマンドピーク値**を下げるができます。



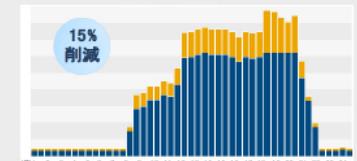
●ピーク値の下げ方は？  
デマンド監視で目標としているピーク値に近づく以下の動作により、ピークカットを行います。  
①パトライトやブザーで状態を知らせる  
②共用部の空調や照明を自動的にカット

●電力のピーク状況が明確になる！  
電力ピークとなる時間帯とその使用量を細かく把握し、ピークカットに対する効果的な対策を打つことができます。



## 使用電力量削減によるコスト削減

●電気の使用料金を下げる！  
デマンド監視や、見える化による運用改善で、**使用電力量**を削減できます。



●電力量の減らし方は？  
使用電力のトレンドを把握し、空調機の運転方法などの見直しを行います。  
不要な電力の把握とカットにより、全体の電力使用量を削減することが可能です。

●電気の見え方が見える！  
月単位で把握していた電力量が、時間ごとにとだけ使用しているかを見ることが出来ます。  
運用改善や省エネ意識向上に役立ちます。



## パソコンを活用した簡単設定



デマンドの詳細設定をはじめ、機器に対してのアドレス登録などは、**Webブラウザ画面**で簡単に設定することが可能です。  
画面に必要事項を入力するだけの簡単設定により、**工数の削減**が見込めます。  
また、誤設定の可能性が高いデマンドパルスの係数設定は、**係数の自動計算機能**で間違いない設定が可能です。

## スマートフォンでも監視可能

デマンドグラフは、パソコンのWebブラウザだけでなく、**スマートフォンのブラウザ画面** (Android、iPhoneとも)に対応しています。  
デマンドコントローラとスマートフォンを**Wi-Fi**接続させることで、いつでもデマンドグラフの確認ができます。  
省エネによる**デマンド電力の変化**もスマートフォンでリアルタイムに確認が可能です。  
※Wi-Fiのネットワーク接続が必要

